

平成22年度第5回中央区地域福祉計画推進協議会議事要旨

- 1 日時：平成23年3月3日（木）午前10時00分～午前11時20分
- 2 場所：中央保健福祉センター大会議室（きぼーる11階）
- 3 出席者：委員28名中17名出席（欠席委員：11名）
- 4 事務局12名

〈次 第〉

- 1 開会
- 2 千葉市中央区地域福祉計画推進協議会委員長挨拶
- 3 事務局職員紹介
- 4 会議の公開について
- 5 議題（1）（仮称）第2期中央区地域福祉計画（最終案）について
（2）その他
①次年度の中央区地域福祉計画推進協議会について
②「中央区推進協だより第10号」について
- 6 閉会

○議事要旨（次第に従い、議事が進められた）

- ・議事に入る前に、事務局から「会議の公開」について説明。
- ・説明者に対して、異議なくこれを承認。
- ・傍聴人：0名

議事1 議題（1）（仮称）第2期中央区地域福祉計画（最終案）について

※事務局（中央区高齢障害支援課）より、別添「資料1の（仮称）第2期中央区地域福祉計画（最終案）」を用いて説明。

第4回推進協終了後、庁内で計画の推進に向けての検討を行い、事務局が案を修正し、パブリックコメント手続き前の短期間でありましたが、委員の皆様から、「第6章計画の推進に向けて」についてご意見を頂戴いたしました。

その後、その意見等を踏まえ、更に修正しました案をもって1月15日から2月14日までの30日間パブリックコメント手続きを実施し、市民の皆様からご意見をお聞かせいただきました。

パブリックコメントでの市民の意見を踏まえて検討をするところでしたが、ご意見がなかったので、第4回会議での指摘事項等を踏まえて、検討したものが今回最終案として作成したものです。

資料1「（仮称）第2期中央区地域福祉計画（最終案）」の3ページですが、第4回推進協でご指摘ありました「（2）見直しにあたって」の4つの見直しポイントに沿って整理した4つのポイント(1)(2)(3)(4)と括弧標記でしたが、4ページの「図—1計画の見直しのイメージ」図に合わせて①②③④と丸標記に修正しました。

また、同4ページの市計画（自助・共助）、区計画（公助）となっていたので、市計画（公助）、区計画（自助・共助）と修正しました。

次に、47・48ページの「第6章計画の推進に向けて」に関しては、3人の委員の方からのご意見をまとめた参考資料があります。

前回の計画案では、「1地域福祉計画の推進体制」、「2今後の区地域福祉計画推進協議会について」としていましたが、「第2期計画」では、実施主体の位置づけや計画の進行管理等が不十分であったことなど、推進体制の問題があったのではないかと反省して、計画を着実に進めるため、「1推進体制の確立」、「2計画の進行管理」を明確に打ち出しました。

「1推進体制を確立」するため、(1)区推進協の役割を「本計画を着実に推進していくため、各地域での取組み内容を収集し、進捗状況を把握するなど計画の進行管理等を行います。」と役割を明確化しました。

「(2)実施主体の明確化」は、「①計画に位置付けられた取組項目を着実に実行していくため、地域住民の福祉の推進を図ることを目的としている社協地区部会をその中心的な担い手として位置付けます。②地区部会の中に重点(優先)項目をはじめ、各取組項目を具体的に実施していくための担当組織を設置するなど部会ごとに工夫をすることとします。③NPO、ボランティア等の方の参加・協力を積極的に求めていくこととします。」と明確にしました。

「(3)コミュニティソーシャルワーカーの配置」は、「社会福祉協議会区事務所にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、関係機関・団体・地域住民のネットワーク化を進めるとともに、住民相互が支え合う地域福祉活動等の活性化を促進します。」としました。

「(4)区役所(保健福祉センター)・社協区事務所の役割」は「区役所(保健福祉センター)及び社協区事務所も「区推進協」の運営や具体的な取組みに対して積極的に連携・支援するなど、その円滑な推進に努めます。」としました。

図-3「地域福祉の推進のイメージ」は、前回提示したものが抽象的でわかりにくい面もありましたので修正しました。

「2計画の進行管理」についてですが、区推進協の役割を明確にしましたが、計画を着実に推進するための的確に進行管理を行うとともに、社会経済状況の変化等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うよう修正しました。

武井 雅光委員長(中央区町内自治会連絡協議会)

・ただいまの説明に対しまして、何かご質問、ご意見等がございましたら、ご発言をお願いいたします。

委員(千葉市社協蘇我地区部会)

・(仮称)第2期中央区地域福祉計画(最終案)の48ページの図-3「地域福祉の推進のイメージ」図の「社協地区部会」と27の具体的な取組み項目の主な担い手の中に社協地区部会が入っていないものもあるので、合わせた方がよいのではないかと。一貫性がないように思える。主な担い手に社協地区部会が入っていないケース、社協地区部会の中に、PTA、青少年育成委員会が入っていない地区部会もあると思う。

委員長(中央区町内自治会連絡協議会)

・27の取組み項目のうち、主な担い手のところで、社協地区部会が入っていない場合は、具体的にどういう形で主な担い手になっている団体に、誰がどのようにして働きかけていくのだろうか。また、担い手の方が48ページにあるように、そういう団体が自分たちの地域になかったら、今ひとつやる気になら

ないのではないかと。

例えば、「22家庭での福祉教育」については、主な担い手として青少年育成委員会、PTAで、支援体制は社会福祉協議会となっているが、その中に社協地区部会が入っていないが、誰がどのように働きかけてこの項目について推進していくと考えていますか。

事務局（市地域福祉課）

- ・市、社協、社協地区部会と連携し合って、働きかけ推進していきたい。

委員（千葉市社協末広地区部会）

・社協地区部会は、自治会関係者には、ほとんど理解して頂いていないのが現状である。こういうことも踏まえて住民に地区部会についてのアンケートを実施した。地区部会同士が交流し、お互いに学び合うことも必要である。市で関連しているものは、それぞれの部署同士の打合せも必要である。

「(仮称)第2期中央区地域福祉計画」の簡易版（誰がみてもわかりやすいもの）を出してみたらどうか。

事務局（中央区高齢障害支援課）

- ・PR版のようなリーフレットを来年度前半に作成しまして、関係各部署へ配布する予定です。

副委員長（千葉市社協東千葉地区部会）

・「(仮称)第2期中央区地域福祉計画（最終案）」の33ページで、「12イベントを通じた地域交流の推進」の主な担い手の一つである「関係機関」は、幅広く含まれてしまいますので、具体的に「民生委員・児童委員」と明記した方がよいのではないかと。同様に「15地域内行事参加の啓発活動」についても「民生委員・児童委員」と明記した方がよいのではないかと。

高齢者に支援が偏っているため、障害者の方にも、先頭に立って関わりをもって、地域の中で住民同士の人間関係を築き上げるべきではないかと感じました。

事務局（中央区高齢障害支援課）

- ・貴重なご意見として、検討させていただきます。

委員（千葉市社協蘇我地区部会）

・「(仮称)第2期中央区地域福祉計画（最終案）」の48ページの図—3「地域福祉の推進のイメージ」を「支援・推進」とした方がよいのではないかと。

事務局（中央区高齢障害支援課）

- ・貴重なご意見として、検討させていただきます。

委員長（中央区町内自治会連絡協議会）

・その他、全体を通して何かご質問、ご意見等がございましたらご発言をお願いいたします。

質問・意見なしの声

事務局（中央区高齢障害支援課）

- ・本日の委員の方のご意見を基に修正して、最終版といたします。

議題（2）その他について

※事務局（中央区高齢障害支援課）より、「次年度の中央区地域福祉計画推進協議会」について説明。

・次年度の委員の選任についてですが、当協議会設置要綱では「委員の任期は1年間」と規定されておりますので、次年度の委員を新たに選任することとなります。今後、地域の団体、組織等（町内自治会、社協地区部会、民生委員児童委員協議会）に対しまして、改めて事務局より4～5月に、委員の推薦をお願いする予定ですので宜しくお願いします。

※事務局（社会福祉協議会中央区事務所長）より「中央区地域福祉計画推進協議会だより」について説明。

・第10号として発行を予定しております。構成については、第4、5回中央区地域福祉計画推進協議会の議事内容、活動紹介として、「末広地区部会、松波地区部会」の内容、また、「今後の活動行事予定表」については、各委員から提出頂いた、平成23年4月～9月までの行事の掲載を予定しております。前回、各委員の皆様にご文書でお願いしました「地域の活動行事の予定表」は、白旗台、星久喜、東千葉地区部会より、事前に提出頂いております。本日ご持参の場合は協議会終了後、事務局にご提出願います。ご持参していない場合は、FAXでも構いませんのでご協力願います。

「議題（2）」に関する質疑等は特になし。

委員長（中央区町内自治会連絡協議会）

・その他、全体を通して何かご質問、ご意見等がございましたらご発言をお願いいたします。

委員（公募）

・「(仮称)第2期中央区地域福祉計画（最終案）」の48ページ「2計画の進行管理」について「計画の推進にあたっては、区推進協において各年度ごとに進行管理を的確に行うとともに、社会経済状況の変化等を踏まえ必要に応じて計画の見直しを行っていきます。」とあり、重要なことであり、今後、社会経済状況の変化に合わせて政府から何らかの対応策が出てくる可能性があるので、その時は柔軟な体制を執って欲しい。

委員（中央区町内自治会連絡協議会）

・自治会長は、社協地区部会の理事となっているが、2～3ヵ月に1度の理事会には出席していない。これからは、理事会に出席して頂き地域福祉の推進を図って頂きたい。

委員（中央区町内自治会連絡協議会）

・目が見えない、耳が聞こえない、話すのが不自由な方に対して市はどのような配慮をしているのかという質問がある。どう答えていいかわからなくてこのことについて、具体的な取り組みについての説明があると助かります。

委員（公募）

・社協地区部会が実際どういう団体かわからなかった。来年度は、担い手の中心であるということ住民の方にわかりやすくPRして欲しい。また、沢山の情報を持っているので、他の団体との連携を持って欲しい。

委員（千葉市社協新宿地区部会）

・社協会員会費の増強の問題がある。人口は増えているが、会員会費は減少傾向にある。施設にお願いにいても玄関先で断られる。社協のPRが足りない。今後、行政等の協力が必要である。

委員（千葉市社協寒川地区部会）

・担い手の問題もある。いかにして担い手を勧誘するか。育成委員会、老人会、子供会、婦人会等の団体との連携も必要である。担い手になって頂くためにどのように働きかけをするのか。社協がどのようなことをやっているのか行政で、PRをして欲しい。

※本日の推進協議会は、今年度中央区の最終の会議となりましたので、委員長及び樽見副委員長より、一言ご挨拶をお願いします。

○委員長（中央区町内自治会連絡協議会）

・地域で進めていくには難しい問題がいろいろありますけど、それを一つ一つ乗り越えてやっていかなければならない。それに挫けることなく頑張ってやっていかなければならないと今の皆様方の意見等を聞いて改めて感じたところです。来年度からも新しい推進協もまた作られていくと思います。できるだけ内容をおわかりの皆様方に残って頂いて活躍をしていただければと思います。本当に1年間、有り難うございました。

○副委員長（千葉市社協東千葉地区部会）

・地域では色々な悩みがあり、自治会との関係、自治会がつくられていないマンション等問題点はありますが、何よりも心の通い合いが一番大事です。このことを励みにしながら新年度に向けて努力していきたい。本当に1年間、有り難うございました。